

のり海況速報 第12報 (27-12)

平成28年 3月28日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 3/22：内湾(ふさなみ)、3/23：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(3/1-25)、東京湾口海況図(3/1-25)
 自動観測ブイデータ(3/1-25)、拓南観測データ(3/23)
 モニタリングポスト(3/22：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は12～13℃台で、今月に入って約2℃上昇しています。塩分は羽田沖でやや低いものの、その他はおおむね30～32台で、平年並みからやや高めでした(図1)。
- ・内房北部の表層水温は13～14℃台になっています。
- ・内房北部の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、ノリ漁場沖合(st. 10)付近の水深10m以深に塩分34以上の水塊がみられます(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入は弱まり、金谷から久里浜ライン付近の水温は14℃台になっていますので、現状ではのり養殖漁場への影響は少ないもようです。

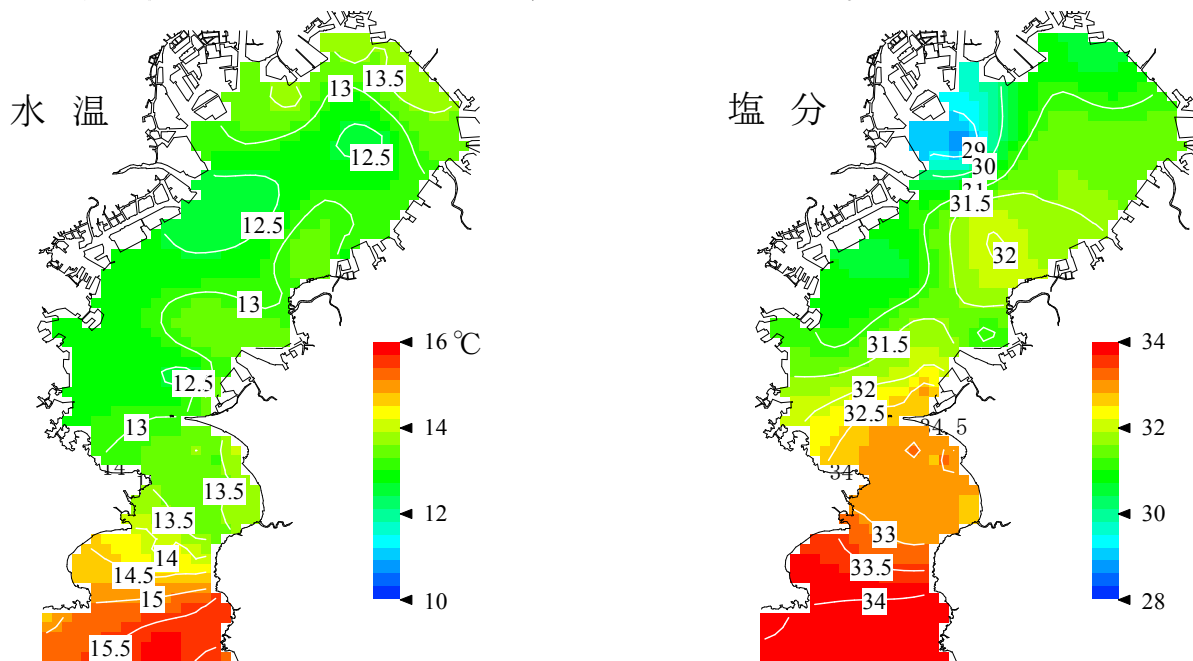


図1 表層の水温・塩分の分布(平成28年 3月22, 23日)

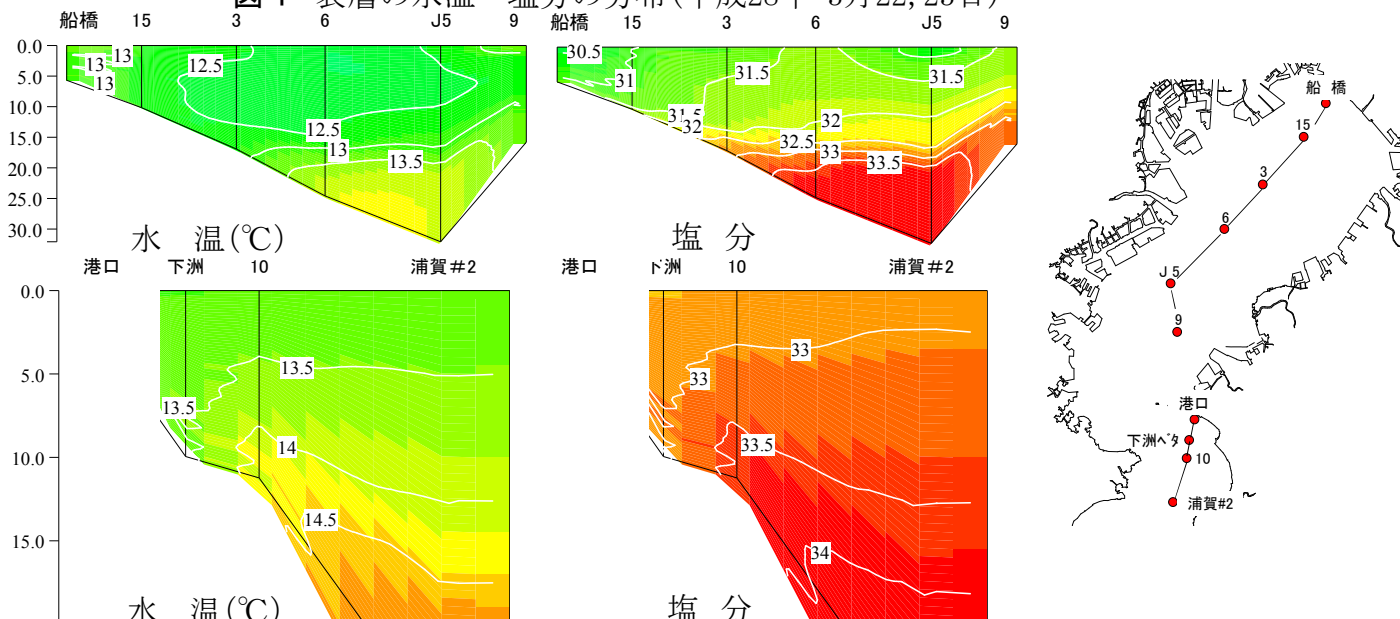


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成28年 3月22, 23日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は内湾北西部を中心に発生し、千葉北部地区ノリ漁場周辺ではpH8.5~8.6、透明度3mを下回るところがみられ、水色は褐色を呈していました。
- 優占種はケイ藻のスケルトネマで、ノリの色落ち被害をもたらすユーカンピアもややみられました。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)は大貫地先でやや少なく、リン(D I P)は全域でかなり少なくなっています。各地区ノリ漁場周辺ではノリの色落ちが心配される濃度まで低下していますので、注意が必要です。

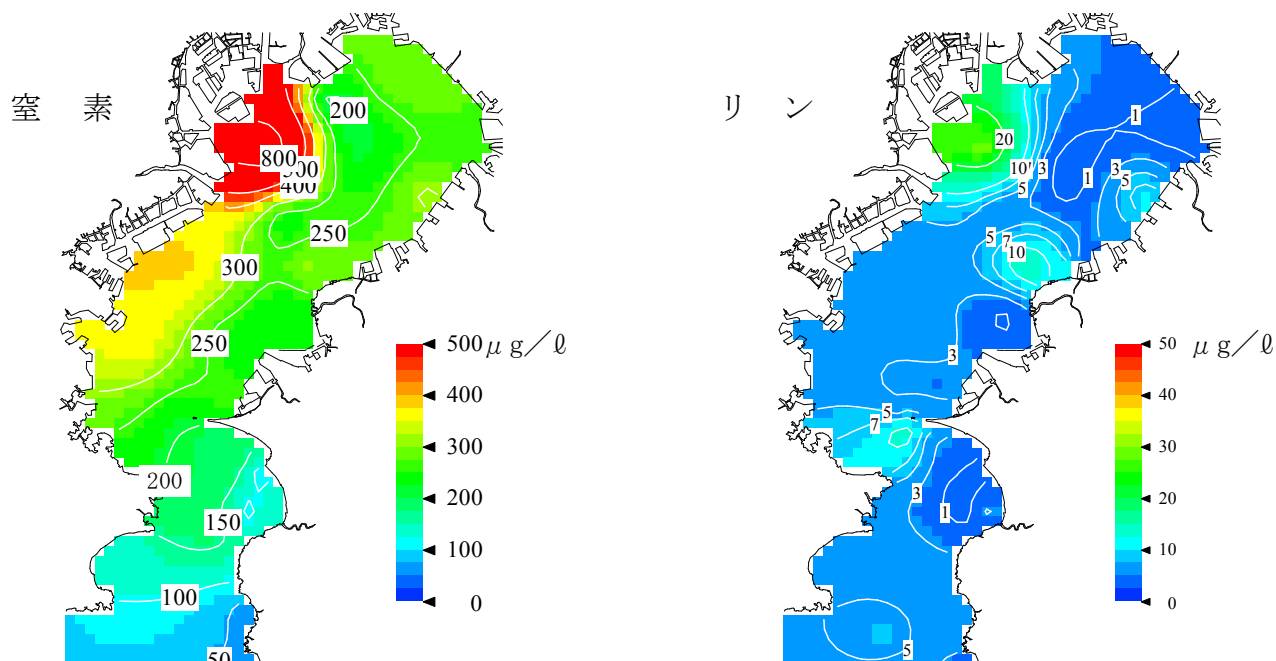


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成28年 3月22, 23日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html